

PROGRAM NOTE

那須町放射能汚染の現状と対策

<2月2・9日 土曜日>

私は栃木県那須町在住の竹原といいます。

昨年9月、那須高原教会で尾崎先生とお会いし、私がこれまで1年半取り組んできた放射能対策の市民活動について話を聞いていただきました。

2011年3月、福島第1原子力発電所事故により、膨大な放射能が飛散しました。

那須地区は、福島原発の南西100kmにあり、低濃度の放射能に汚染されました。低濃度と言っても放射線管理区域に指定されるレベルです。放射線管理区域では未成年者の従事や中の飲食が法律で禁止されています。しかし、那須地区には、子供があり、当然飲食もしているという矛盾があります。

当初、私達は放射能に関する知識がなく、放射能汚染の情報も知らされず、また放射能は目に見えないため、特に子供がいる若いお父さん、お母さんは不安にさらされました。

事故から2ヶ月後の2011年5月に、“大人の力で子供たちを放射能から守ろう”を合言葉に、藤村靖之日本大学教授を中心に「那須希望の砦」プロジェクト（現在NPO法人、<http://nasu-toride.org/>）がスタートし、私も一緒に活動を行ってきました。

放射能についての勉強をし、計測方法を学び、計測し、対策研究を行いました。

寄付で購入した計測器を使って1,400箇所以上を延べ1,000人以上で繰り返し測定しました。那須地域の放射能汚染度は、子供たちの安全が守られるレベルではありませんでした。また、通学路を延べ120kmにわたり測定し、除染のためのホットスポット調査もしました。

いろいろな除染方法、遮蔽方法を試験しました。洗濯物を屋外に干せるか調べるため実際にタオルを屋内外に広げて比較したり、地表面の高濃度汚染状態を広範囲で調査したり、作物への放射性物質の移行調査、樹木の汚染実態調査、山菜の汚染調査、市民計測所の開設・・・本当に知りたいことは全て調べてきました。

わかったことは、子供の被ばくを防止するため、効果のある除染を行い、除染除去物を隔離することです。

外部被ばくについては、子供の生活記録をとり、外部被ばく量の試算をしました。子供の外部被ばく量の70%以上が自宅の室内での被ばくでした。

室内の放射線量を下げるため1軒丸ごと除染する実験をしました。室内の放射線量を下げるには、家の周りの表土除去、屋根の除染が効果のあることがわかりました。瓦屋根は瓦の合せ目に放射性物質が入り込んでいるため、瓦を外して除染しなければ効果がありません。



通学路の放射線量測定



放射線量の減衰調査



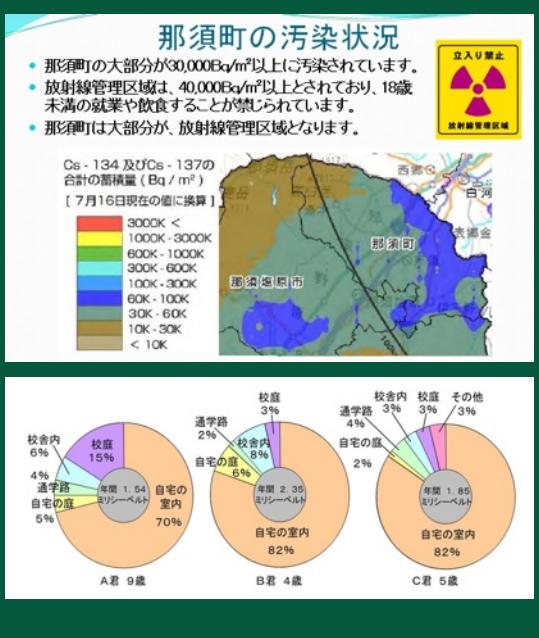
屋根の除染



家の周りの表土除去



市民計測所のスペクトロメー



内部被ばくについては、主に食品からと土埃の吸い込みにより被ばくします。

食品については、市民計測所での測定、移行調査により、山菜、シイタケなどを除けば、ほぼ問題ないこともわかりました。

土埃については、那須地区の地表面の90%は $8,000\text{Bq}/\text{kg}$ 以上（平均 $20,000\text{Bq}/\text{kg}$ 超）の高濃度汚染された土に覆われており、土埃による内部被ばくが懸念されます。（ $8,000\text{Bq}/\text{kg}$ 以上とは、放射能汚染廃棄物の場合指定廃棄物となり、管理型処分場で処理しなければならない濃度です。）

国の除染がやっと始まりますが、国の指定する低濃度汚染地区の除染方法では、表土除去、屋根の除染を認めていません。

除染方法を比較実験した結果、

除染前の室内線量： $0.22\mu\text{Sv}/\text{h}$

国の除染方法での除染後： $0.21\mu\text{Sv}/\text{h}$

表土除去、屋根の除染後： $0.15\mu\text{Sv}/\text{h}$

国の除染方法では効果がないことがわかりました。国に除染方法の改善を提案しても受け入れてもらえない、自治体も町民も困っています。

また、除染で発生した高濃度汚染除去物を隔離するための置場も確保できていないため、汚染物の拡散も懸念されます。

このように、効果ある対策がなにも進んでおらず、問題は山積の状態ですが、皆さんの放射能への関心はだんだん薄れてきています。

セシウム137の半減期は30年で、対策をしないと、子供たちは長期間被ばくを受けることになります。

いかにあきらめずに活動を継続し、早く対策を進めることが当面の大きな課題です。

竹原亜生



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

2月 2日	那須の放射能除染対策	竹原亜生 (1)
2月 9日	那須の放射能除染対策	竹原亜生 (2)
2月16日	笑いは心の癒し	花島二郎 (1)
2月23日	笑いは心の癒し	花島二郎 (2)

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

2月 3日	聖書遊覧バス（聖書の見所をたずねて）
2月10日	聖書遊覧バス（聖書の見所をたずねて）
2月17日	リスナーからの「お便り交換の時間」
2月24日	聖書遊覧バス（聖書の見所をたずねて）

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間午前7時半～8時

（米国アリゾナ制作／オーストラリア送信）

放送周波数： 15525kHz 19mb

HCJB 日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA